

「延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学総合人間学部2年 塚原 由恵

私はこのプログラムで初めての留学を経験しました。留学に行く前は、現地で楽しく語学を身につけることが目標でしたが、実際それ以上の経験をする事ができたように思います。現地では、韓国の近隣諸国はもちろんですが、今まで出会ったことのないような国の方々と韓国語を通して交流できたのが自分にとってとても新鮮であり、これまでの人生を振り返り、これからの学生生活、人生をどのように過ごしたいか考えるきっかけとなりました。私の世界は今まで、単一民族国家で島国の日本の中で、特に自分と比較的同じような人生を歩んできた人の多い大学というコミュニティで完結していました。しかし、広い世界には全く違う文化を持つ人が沢山いることが実感として分かりましたし、世界を広げて自分の常識を疑い、自分の人生だけでなく、社会をよりよくするために海外経験が必要不可欠だと感じました。今回のプログラムでは特に、韓国と日本との相違点について考えることで、韓国はもちろんですがより日本について知る機会になりました。延世大学の学生とのセミナーでは、日韓関係や戦争について議論を交わしましたが、日本のメディアで見るとは少し異なる印象を持ちました。自分が持っていたイメージはイメージでしかなく、対面して話すことの重要性を感じました。今回は韓国語を学びに行きましたが、これから世界を広げていくためには英語が必要不可欠だと実感したプログラムであったので、学生生活中に留学することは考えていませんでしたが、英語圏への留学をするべきだと思いました。

今回のプログラムは延世大学語学堂にて三ヶ月課程のクラスに編入し、午前中に授業をうけ、午後は自由行動というのが基本でした。午前中の授業では韓国語を話しながら様々な国の人の自分たちの国の紹介を聞くことができ、また私自身も日本の文化について話すことができ、非常に有意義な時間でした。特に、自分と同じレベルの韓国語能力を持った人との集まりだったので、リラックスしながら積極的に話すことができました。ネイティブの方と話すのも勉強になりますが、聞き取りに必死になってしまうので、文化交流という側面も加えて考えた時、このようなクラスが存在は非常にありがたく、今回のプログラムでは韓国語を話す力はこのクラスの人たちと交流する中で身につけられたように感じました。また、3週間課程ではなく、正規課程のクラスに編入したことは、一足先に帰ることになるので残念な気持ちもありましたが、これからも韓国にとどまる人が多く、また会いに行きやすい友達を作ることができたので良かったと思います。

今回のプログラムでは、たくさんの経験をしました。英語圏への留学が一般的ではありますが、第二外国語の習得をすることもでき、英語を話す機会もあり、3週間という短期ではありましたが初めての留学にはとても良かったと思います。今後の人生を考えるきっかけともなりました。ありがとうございました。